

## ・事業年度

毎年4月1日～翌年3月31日

## ・定時株主総会

毎年6月

## ・基準日

定時株主総会・期末配当：毎年3月31日

中間配当：毎年9月30日

## ・公告方法

電子公告(www.nissanchem.co.jp)

但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

## ・1単元の株式の数

100株

## ・上場金融商品取引所

株式会社東京証券取引所

## ・株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関

〒100-8233

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

三井住友信託銀行株式会社

## ・同事務取扱場所

〒100-8233

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

## ・郵便物送付先・電話お問合せ先

〒168-0063

東京都杉並区和泉二丁目8番4号

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

0120-782-031(フリーダイヤル)

### ●住所変更、単元未満株式の買取・買増などのお申し出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座に記録されました株主様は、三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

### ●未払配当金のお支払いについて

三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

### ●「配当金計算書」について

配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

但し、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社などにて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いします。

IR情報はホームページからもご覧になれます。

<http://www.nissanchem.co.jp>



日産化学工業

検索



株主・投資家の皆様へ

# Business Report

## 第146期 中間報告書

2015年4月1日から2015年9月30日まで

 日産化学工業株式会社

証券コード：4021



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間における国内景気は、中国経済の減速懸念とそれを契機とした株式市場の不安定化の影響を受けましたが、円安・原油安を背景に企業業績は改善し、緩やかな回復基調となりました。

当社グループの概況につきまして、化学品部門は、原燃料価格下落による収益改善に加え、「ハイライト」(殺菌消毒剤)の輸出が伸長しました。機能性材料部門は、特に半導体材料での設備投資により、固定費が増高しましたが、ディスプレイ材料、半導体材料、無機コロイド材料の販売はいずれも堅調に推移しました。農業化学品部門は、国内では「アル

テア」(水稲用除草剤)、輸出では「パーミット」(水稲・畑作用除草剤)およびフルラネル(動物用医薬品原薬)が好調を維持しました。医薬品部門は、「リバロ」(高コレステロール血症治療薬)の海外向けは順調でしたが、国内は厳しい状況が続きました。

この結果、当期の業績は増収増益となりました。なお、中間配当金は、1株当たり18円(前期中間配当金に比べ4円増配)とさせていただきます。

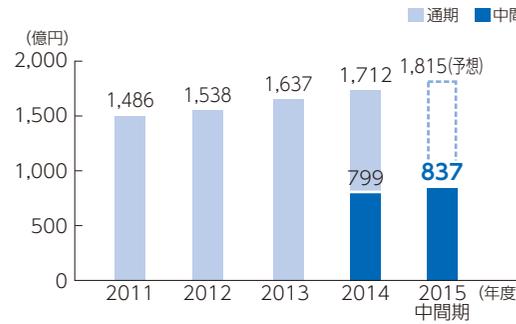
今年度の業績見通しは、本年5月の公表値を、足元の需要予測をもとに上方修正しましたが、国内の消費回復の遅れ、不透明な海外経済情勢など、予断を許さない状況が続くものと想定しております。

今年度は、当社グループの3カ年の中期経営計画「Vista2015 StageII」の最終年度として、いかなる事業環境におきましても、全社を挙げて利益目標の達成を目指してまいる所存です。

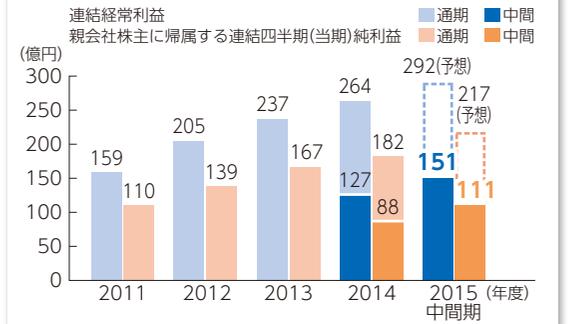
株主の皆様におかれましては、より一層のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

取締役社長 **木下 小次郎**

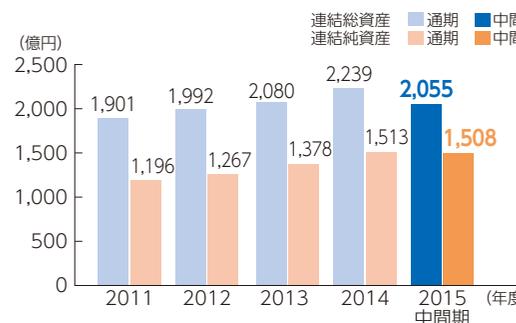
1 連結売上高



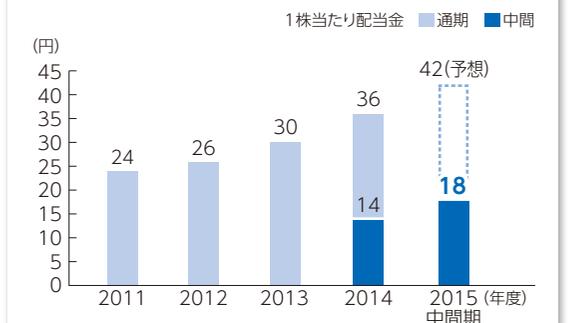
2 連結経常利益 / 親会社株主に帰属する連結四半期(当期)純利益



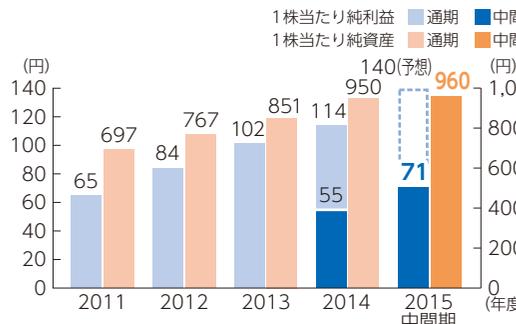
3 連結総資産 / 連結純資産



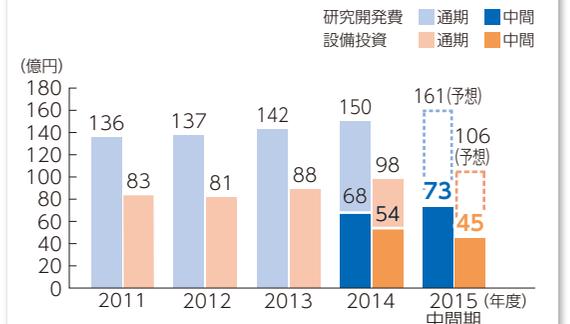
4 1株当たり配当金



5 1株当たり純利益 / 1株当たり純資産



6 研究開発費 / 設備投資



# セグメント別概況



2 液晶テレビ

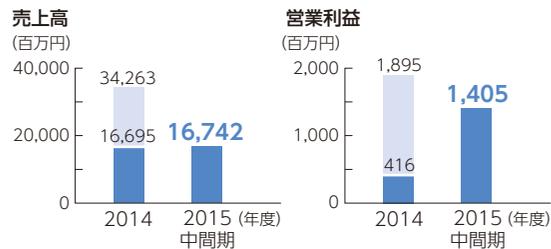


3 動物用医薬品「ブラベク」錠



6 日産緑化 エコプランター「みずやり名人」

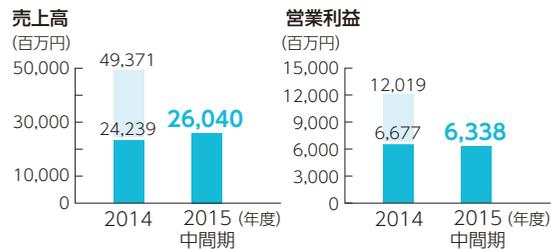
## 1 化学品部門



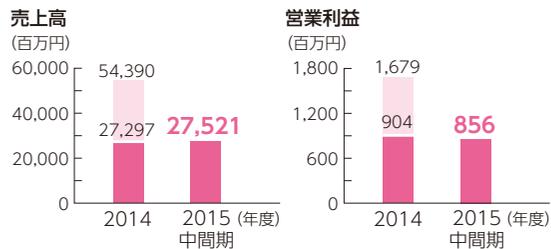
## 4 医薬品部門



## 2 機能性材料部門



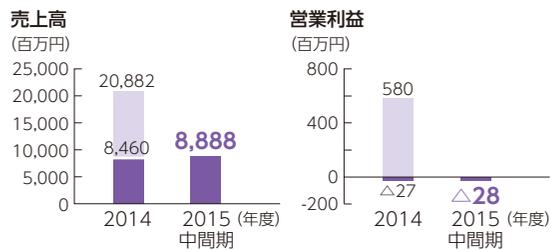
## 5 卸売部門



## 3 農業化学品部門



## 6 その他の部門



## 1 化学品部門

基礎化学品では、メラミンの輸出販売量が増加しました。ファインケミカルでは、「ハイライト」(殺菌消毒剤)の輸出販売が前年を上回りました。この結果、当部門の売上高は167億42百万円(前年同期比46百万円増)、営業利益は14億5百万円(同9億88百万円増)となりました。

## 2 機能性材料部門

「サンエバー」(液晶表示用材料ポリイミド)は、TVなどの大型向けに加え、スマートフォンなどの中小型向けも堅調に推移しました。半導体材料では、多層材料(ARC<sup>®</sup>)が一部顧客の稼働率低下の影響を受けました。「スノーテックス」(電子材料用研磨剤、各種表面処理剤等)は、電子材料用研磨剤向けで苦戦しましたが、その他一般用途およびオルガノシリカゾル(各種コート剤向け)での出荷が前年を上回りました。

この結果、当部門の売上高は260億40百万円(前年同期比18億円増)、営業利益は63億38百万円(同3億38百万円減)となりました。

\*ARC<sup>®</sup>はBrewer Science, Inc.の登録商標であり、フォトレジスト下で使用される反射防止膜および、多層材料を含みます。

## 3 農業化学品部門

国内に関しては、「アルテア」(水稲用除草剤)の販売量が増加しました。輸出につきましては、「パーミット」(水稲・畑作用除草剤)、「タルガ」(畑作用除草剤)およびフルラナレル(動物用医薬品原薬)の出荷が順調に推移しました。

この結果、当部門の売上高は211億40百万円(前年同期比26億8百万円増)、営業利益は62億21百万円(同22億66百万円増)となりました。

## 4 医薬品部門

「リパロ」原薬は、海外向けは堅調でしたが、国内向けは厳しい状況が続きました。「ファインテック」(医薬品研究開発参加型事業)は、一部顧客向けの出荷時期が下半期へ後倒しになったことで売上が減少しました。なお、新規医薬品ライセンス契約による一時金収入を見込んでおりましたが、契約時期が下半期にずれ込んだことから、上半期での売上計上はありませんでした。

この結果、当部門の売上高は37億42百万円(前年同期比12億56百万円減)、営業利益は6億17百万円(同9億81百万円減)となりました。

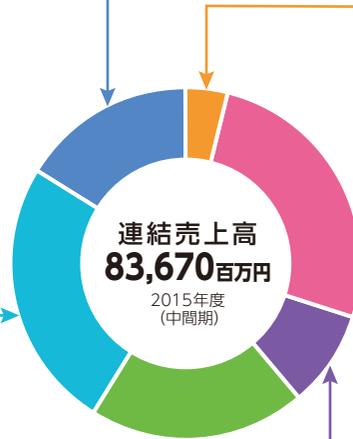
## 5 卸売部門

農薬等が伸長した一方で、販管費が増加しました。

この結果、当部門の売上高は275億21百万円(前年同期比2億23百万円増)、営業利益は8億56百万円(同48百万円減)となりました。

## 6 その他の部門

当部門の売上高は88億88百万円(前年同期比4億27百万円増)、営業損失は28百万円(前年同期は営業損失27百万円)となりました。



## 水稲用除草剤「アルテア」の販売好調

「アルテア」は日産化学が発明・開発した新規除草成分メタゾスルフロンの愛称で、日本では2013年から販売を開始し、現在、一発処理除草剤4製品をラインナップしています。

ノビエなどの一年生雑草はもちろん、従来のアミノ酸合成阻害剤では防除しづらくなったスルホニルウレア抵抗性雑草に有効なうえ、多年性雑草にも高い効果を示します。ホタルイヤクログワイの地上部を枯らすだけでなく、地下茎の伸長、分株を阻止し、増殖源となる塊茎の形成も抑制することで、翌年の発生リスクを大幅に減らすことができます。

シリーズ4製品は、それぞれ他の問題雑草に対して卓効を示す成分を付加することで、除草効果を強化したものです。1キロ粒剤・フロアブル・ジャンボ等、多彩な剤型を取りそろえており、雑草の発生状況や使用者の用途に合わせ、最適なものを選択していただくことが可能です。

当社は、本製品を新たな基幹薬剤として、今後も農業の省力化、食糧の安定供給に貢献してまいります。



アルテアポスター

## 自己株式取得

当社は、ROEを最重視した経営を実践しており、その向上を目的に、2006年度より自己株式取得を開始しました。2014年度までの累計取得株数は29百万株、取得総額は365億円となっています。

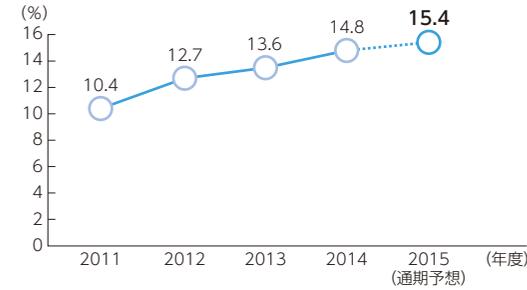
今年度も、2015年5月から7月にかけて、取得株数2百万株、取得総額60億円の自己株式取得を実施し、この結果、累計取得株数は31百万株（取得開始前発行済株式の16.5%）、取得総額は425億円となりました（取得株は消却済）。

今後も、配当金とあわせて機動的に自己株式を取得することで、株主の皆様へ利益を還元してまいります。



## 連結主要指標推移

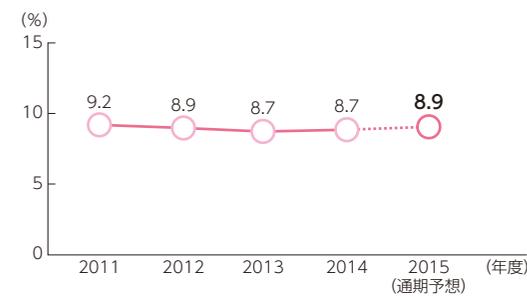
### ■売上高営業利益率



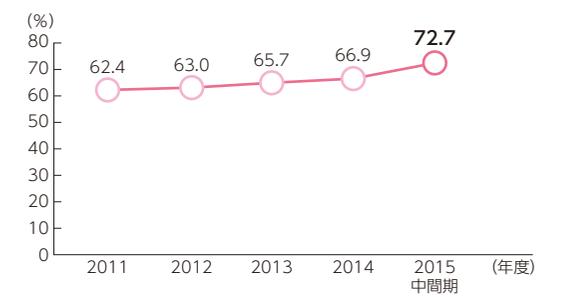
### ■ROE



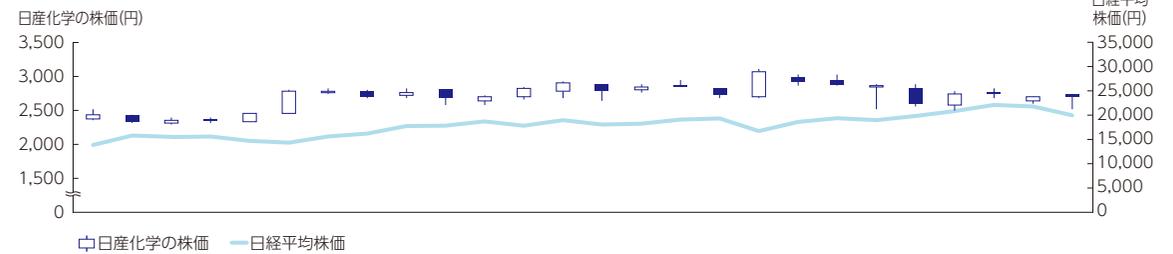
### ■売上高研究開発費率



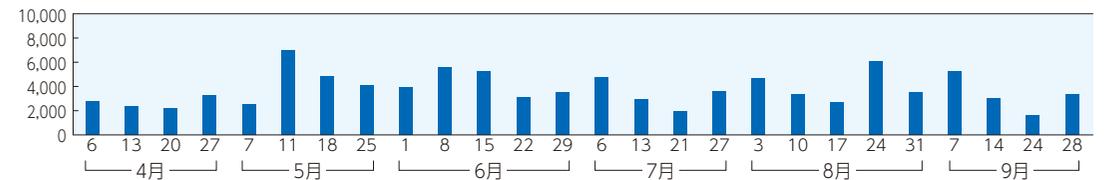
### ■自己資本比率



### ■株価および出来高(2015年4月～2015年9月)

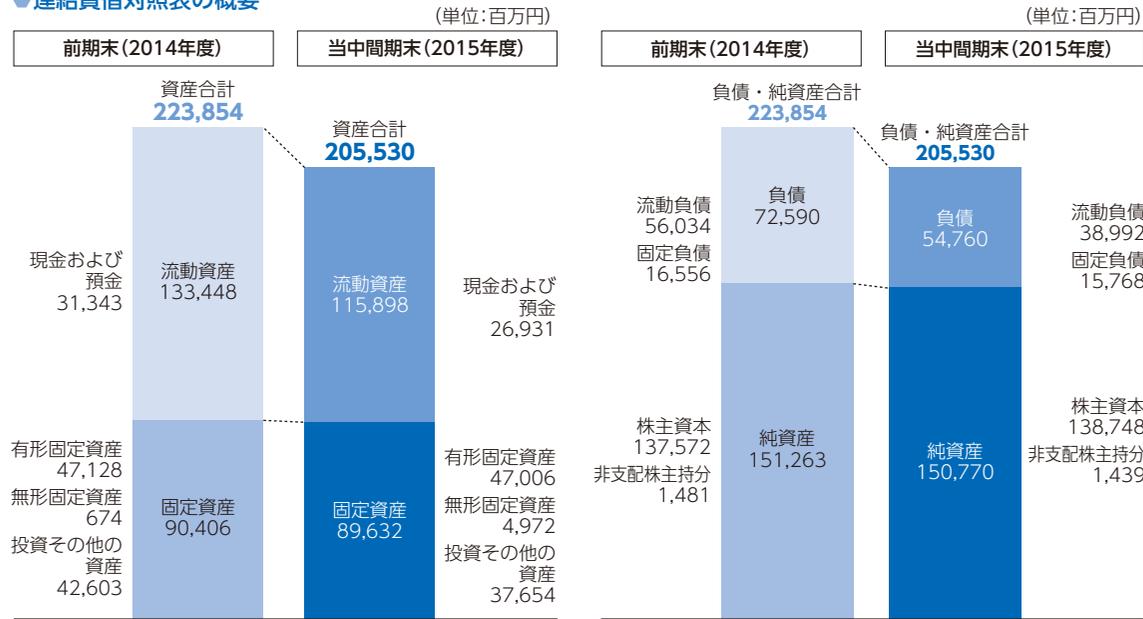


### ■日産化学の出来高(千株)

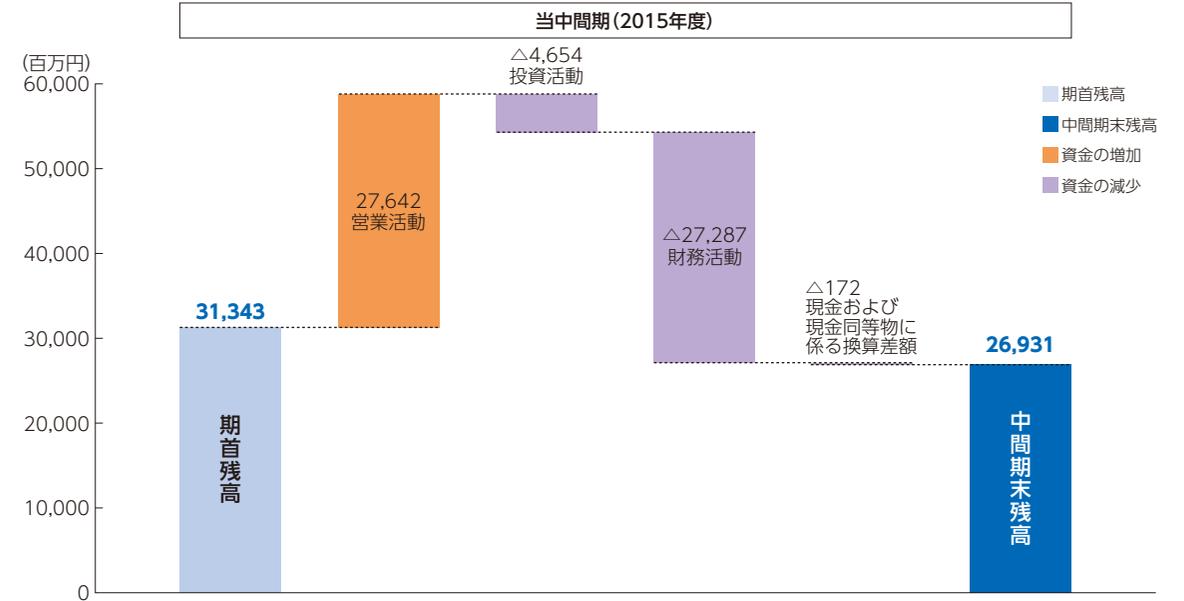


# 連結財務の状況

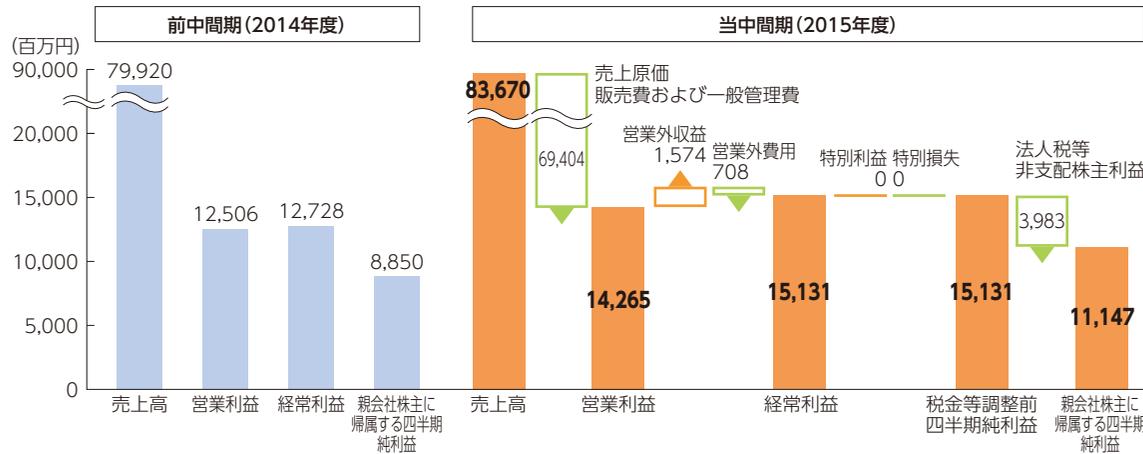
## ●連結貸借対照表の概要



## ●連結キャッシュ・フロー計算書の概要



## ●連結損益計算書の概要



### 貸借対照表のPOINT 有利子負債の減少

9月末の有利子負債は17,379百万円で、3月末から17,721百万円減少しました。

### 損益計算書のPOINT 上期における過去最高益

営業利益14,265百万円、経常利益15,131百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益11,147百万円となり、いずれも過去最高を更新しました。

### キャッシュ・フローのPOINT 自己株式の取得

株主還元のため実施した自己株式の取得による支出60億円が、財務活動によるキャッシュ・フローに含まれております。

